

クローズアップ

施設使用料見直し後の現況

私たち大村市広報モニターは、市が行う広報活動全般についてモニタリングすることを目的に今年2月から活動しています。

今後2年間市政たより、市のホームページなどが市民にとって見やすく、知りたい情報が掲載されているのか調査・検証を行ってまいります。

広報モニターの活動の一つとして、自ら取材編集した広報おむら特集号の発行があり、2班に分かれて、9月号と3月号に編集取材した記事を掲載することになっています。

9月号では、市が管理運営している市コミセン、中地区公民館が平成19年4月に、屋内プール・市民会館シーハットおむらが今年4月に使用料の料金改定を行っています。

その後の利用に変化が生じていないか、市民の皆さんも興味があることではないかと今回取材しました。どうぞご覧ください。

広報モニターです！
今回第1回目として、
施設使用料をテーマに
私たちが取材して記事
の作成を行いました。



屋内プール

利用者の声

50代女性(個人利用)

1回の利用で200円増は大きい。泳ぐ回数を減らし、1回の泳ぐ時間を増やしました。回数券の利用は以前は2,000円で6回泳げたのに、6,000円で11回になり、特に割高になった気がします。シャワーがないなど、施設的には不満もあり、割高感を感じています。

屋内プール受付担当者

料金改定前後の利用者の変化は、それ程感じられないようです。

中学校水泳部保護者

団体での利用は、以前は利用人数に応じての料金だったのが、4月からはコース単位での料金になりました。

一概に金額が上がったとは言えず、部員数が多いときはむしろお得な感じになりました。



	利用人員(人)	収入額(円)	年間運営経費(円)
20年度(改定前)	9,873	1,940,260	23,292,946
21年度(改定後)	10,399	1,838,000	-
差引	526	-102,260	-

* 期間: 4~6月の3か月間(年間運営経費は1年間)

モニター感想

団体やシルバーの利用者は、料金改定をそれ程負担に感じていないようですが、一般個人の利用者には少々負担を感じる料金改定のようにあり、いろいろと工夫して利用されているようです。改定後の利用者が増えていますが、収入増につながっていないのが気にかかります。理由としては、改定前の回数券の利用も考えられます。



利用者の声

60代男性

非営利団体・個人の利用は原則無料としてほしいです。

60代男性

利用料金の値上げによって大村の文化活動(特に、高齢者の利用)を阻害するのは問題ではないでしょうか。文化・平和都市をスローガンにするには、ほど遠いと思います。



	利用人員(人)	収入額(円)	年間運営経費(円)
20年度(改定前)	16,545	2,895,485	34,834,681
21年度(改定後)	16,466	3,001,075	-
差引	-79	105,590	-

* 期間: 4~6月の3か月間(年間運営経費は1年間)

モニター感想

料金改定の前と後では、利用者は微減していますが、料金の値上げにより収入増になっています。主に講演会や勉強会などで会議室を利用している人の意見を聞きましたが、「営利目的でなく文化・教育などの目的で利用する場合は原則無料か安い料金で使いたい」との声が多かったです。また会議室などは高齢者の利用が多いので、このような意見や声は切実だと思いました。



市民会館

利用者の声

60代男性

退職後、健康維持並びに仲間作りを主な目的に週2、3回バドミントン、卓球などで快い汗をかき、2時間ばかり楽しくプレイしています。たまには、野菜作りの情報交換などして、シーハットを利用させて頂いています。4月から使用料金が改定されたようですが、妥当なところではないでしょうか。



	利用人員(人)	収入額(円)	年間運営経費(円)
20年度(改定前)	66,021	7,031,980	157,467,679
21年度(改定後)	59,794	6,151,373	-
差引	-6,227	-880,607	-

* 期間: 4~6月の3か月間(年間運営経費は1年間)

モニター感想

スポーツ愛好者のグループでは、利用料金の改定については、さほど負担には感じていないようです。しかし、個人利用者は、改定前にチケットを購入した人もいたようで、4、5月には収入額(＝利用料金)に反映されていないのではないかと推定されます。3か月間のデータでは実情を把握できなかったようで、1年ぐらいいは期間が必要かと思いました。



利用者の声

手編みグループの皆さん(中地区公民館)

公共の施設を使わせていただいているので、利用料を負担するのは当然だと思っています。

今の料金に不満はありません。今後も利用させていただきます。



健康体操会員(中地区公民館)

今まで無料で利用できていたのに、有料になって負担を感じています。

税金を払っている市民が使うのだから、無料にしてほしいです。

詩吟の皆さん(市コミセン)

これだけの施設を利用させていただいているので、使用料を負担するのは当然です。妥当な使用料で負担に感じる事はありません。

市コミセン	利用人員(人)	収入額(円)	年間運営経費(円)
18年度(改定前)	130,752	3,205,550	5,880,318
20年度(改定後)	161,370	6,373,200	(3年平均)
差引	30,618	3,167,650	-

中地区公民館	利用人員(人)	収入額(円)	年間運営経費(円)
18年度(改定前)	40,157	3,968,918	6,828,672
20年度(改定後)	35,130	1,705,570	(3年平均)
差引	-5,027	-2,263,348	-

* 期間: 1年間

モニター感想

公民館使用料については、無料から有料になりましたが、妥当な金額で、負担に感じることなく当然という意見が多かったです。しかし、若年グループは、負担を重く感じているという意見もありました。



取材を終えて

取材の結果、屋内プール、シーハットおむら、市民会館は、料金改定後3か月間の短期間であったため、比較するには時期が早すぎたように思いました。改定前に購入していた旧利用券の利用があったり、使用料改定に因果関係を見ることは難しく感じました。

しかし、調査・取材の過程で、それぞれの施設の運営において光熱水費などの多大な経費が必要なのもわかり、利用者の負担はある程度やむを得ないのかもしれない。利用者側としては、金銭的な負担が少ないことを望むところですが、さまざまな理由・事情で施設を利用する人とならない人がいることや、経費などを考えると、個人の負担を考慮しながらの料金改定も仕方ないのかもしれない。

市などの施設の管理者は、利用者のご意見などを良く聞いて、サービスの向上に努めていただきたいと思います。

広報紙を作ってみて、編集や取材が思っていたよりも大変でした。次回は来年3月号を取材編集します!!

市からひとこと

モニターの活動はボランティアで行っていただいておりますが、委嘱されたモニター8人の方は、今月号を編集するにあたり、通常十数回の各所の取材や記事の編集などを行っていただきました。ご苦労さまでした。

